

東京クリニック

医薬品情報

TEL 03-5287-5532

Web <http://www.tokyo-clinic.jp>

Mail info@tokyo-clinic.jp

貯 法：室温保存。開封後も光を遮り保存すること。
使用期限：外箱に表示の使用期限内に使用すること。
(使用期限内であっても、開封後はなるべく速やかに使用すること。)

日本薬局方 塩酸チアミン注射液

* **メタボリン®注射液50mg** *
「タケタ」

* METABOLIN® INJECTION 50mg.

承認番号	薬価収載	販売開始
21300AMZ00661	1953年 8 月	1952年12月
再評価結果		1974年 7 月

【禁忌】(次の患者には投与しないこと)

本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【組成・性状】

本剤は日本薬局方塩酸チアミン(ビタミンB₁塩酸塩)注射液である。

		1 管(1mL)中
有効成分	塩酸チアミン	50mg
添 加 物	チオグリコール酸	1 mg
性 状		無色澄明の液
pH		2.5～4.5
浸透圧比		約 1

浸透圧比：生理食塩液に対する比

【効能・効果】

- ビタミンB₁欠乏症の予防及び治療
- ビタミンB₁の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給(消耗性疾患、甲状腺機能亢進症、妊産婦、授乳婦、はげしい肉体労働時等)
- ウエルニッケ脳炎
- 脚気衝心
- 下記疾患のうちビタミンB₁の欠乏又は代謝障害が関与すると推定される場合
 - 神経痛
 - 筋肉痛、関節痛
 - 末梢神経炎、末梢神経麻痺
 - 心筋代謝障害

ビタミンB₁欠乏症の予防及び治療、ビタミンB₁の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給、ウエルニッケ脳炎、脚気衝心以外の効能・効果に対して、効果がないのに月余にわたって漫然と使用すべきでない。

【用法・用量】

塩酸チアミンとして、通常成人1日1～50mgを静脈内、皮下又は筋肉内に注射する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

- 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)
薬物過敏症の既往歴のある患者
- 副作用
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。(再審査対象外)
重大な副作用
ショック(頻度不明)を起こすことがあるので、観察を十分にに行い、血圧降下、胸痛苦悶、呼吸困難等の異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

その他の副作用

過敏症：発疹(頻度不明)等があらわれることがあるので、このような場合には投与を中止すること。

3. 適用上の注意

筋肉内注射時：筋肉内注射にあたっては、組織・神経等への影響を避けるため、下記の点に注意すること。

- 1) 筋肉内注射はやむを得ない場合にのみ、必要最少限に行うこと。なお、特に同一部位への反復注射は行わないこと。また、低出生体重児、新生児、乳児、幼児、小児は特に注意すること。
- 2) 神経走行部位を避けるよう注意すること。
- 3) 注射針を刺入したとき、激痛を訴えたり、血液の逆流をみた場合は、直ちに針を抜き、部位を変えて注射すること。

注射速度：血管痛を起こすことがあるので、注射速度はできるだけ遅くすること。

【薬効薬理】¹⁾

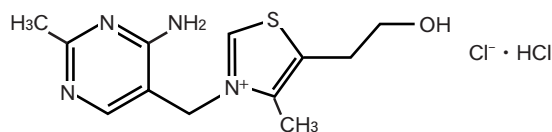
チアミンは、ATP存在下にthiamine diphosphateに変換し、生理作用をあらわす。

すなわち、糖質、蛋白質、脂質代謝において、また、TCAサイクルの関門として重要な位置を占めるピルビン酸の脱炭酸反応や、TCAサイクル内の反応であるα-ケトグルタル酸の脱炭酸反応に関与している。

更に、トランスケトラーゼの補酵素として5炭糖リン酸回路での糖代謝、核酸代謝に関与している。

*【有効成分に関する理化学的知見】

化学構造式：



一般名：塩酸チアミン (thiamine hydrochloride)

化学名：3-(4-Amino-2-methylpyrimidin-5-ylmethyl)-5-(2-hydroxyethyl)-4-methylthiazolium chloride monohydrochloride

分子式：C₁₂H₁₇ClN₄OS · HCl

分子量：337.27

融 点：約245 (分解)

性 状：塩酸チアミンは白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはないか、又はわずかに特異なおいがある。水に溶けやすく、メタノールにやや溶けにくく、エタノール(95)に溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

【取扱い上の注意】

【注 意】本品は「ワンポイントカットアンプル」を使用している
ので、ヤスリを用いず、アンプル枝部のマーク（青）の反対方向に折り取ること。

【包 装】

50mg・1mL：50管

【主要文献】

1) 小 池 正 彦 他：新ビタミン学, 163, 1965.

【文献請求先】

武田薬品工業株式会社 医薬開発本部 医薬情報部
〒540-8645 大阪市中央区道修町四丁目1番1号

製造発売元

武田薬品工業株式会社

〒540-8645 大阪市中央区道修町四丁目1番1号